

掲示板 2017年 8月号

掲示板は、学習に関する留意点や事務手続をお知らせするページです。
毎号必ず目を通してください。

なお、通信教育部ホームページ(<http://www.toyo.ac.jp/site/tsukyo/>)にも、『東洋通信』を掲載しています。

目次

1 目次

3 行事予定

6 卒業論文題目登録申請について **後期正科生対象** 【再掲】

8 2017年9月学位記授与式・卒業式

9 単位認定試験(筆記)第3回・第4回

21 学籍

21 正科生の在籍手続について(休学手続・休学からの復学手続を含む) **後期生対象**

23 休学願(後期生用)

25 退学手続について **後期生対象**

26 在学年限超過に伴う除籍について **後期生対象**

26 科目等履修生の登録期間終了について **後期科目等履修生対象**

26 科目等履修生で改めて次年度の登録を希望する場合 **後期科目等履修生対象**

27 科目等履修生の証明書発行時の注意について **科目等履修生対象**

28 教務

28 **予告** 履修登録について **後期正科生対象**

30 各種期限について

31 春学期の単位認定試験(論文)の申請および提出期限について

32 8月事務室休業期間中の「単位認定試験(論文)」受付について

33 リポート・単位認定試験(論文)提出時の体裁について 【再掲】

34 成績の確認について

34 「司書教諭修了証書」申請について **後期生対象**

35 司書教諭修了証書申請書

36 卒業要件の充足と卒業の時期について 【再掲】

36 TA(ティーチングアシスタント)の学習相談および在室時間 【再掲】

37 GPA算出に伴う履修登録科目の取り消しについて

37 GPA制度の改定について

38 科目担当教員の変更および休講科目について(2018年4月～) 【重要】

目次

38 科目等履修生の履修について **科目等履修生対象** **前期生対象**

39 その他

39 登録情報の変更について

39 『学生生活ハンドブック』配付停止について **正科生対象**

40 通信教育課8月・9月の窓口・電話取扱日および取扱時間について

41 「第31回 法学部長杯争奪法律討論会」開催と立論者募集のお知らせ **法学部学生対象**

43 東洋大学能楽鑑賞教室のご案内

44 TAのしおり

【随 筆】

「言語景観」からみえるもの…………… 三宅和子…(71) 2

【学 習 室】

「情報メディアの活用」の授業がめざすもの

— 「学び方を学ぶ！」…………… 木戸 裕…(66) 7

「判例の位置付けに注意！」…………… 清水 宏…(65) 8

言葉に無頓着であってはいけない…………… 栗原 久…(59) 14

【論 文】

狂言にみる茶の文化…………… 原田 香織…(58) 15

8月	行事予定	手続期間	[東洋通信] 参照ページ
1 (火)	夏期1期S② 学外1期S②	単位認定試験(筆記)第3回申込開始 (~8/15)	P.9
2 (水)	夏期1期S③ 学外1期S③		
3 (木)	夏期2期S①		
4 (金)	夏期2期S②		
5 (土)	夏期2期S③ 窓口・電話取扱停止		
6 (日)			
7 (月)	窓口・電話取扱停止(事務室休業)		
8 (火)	窓口・電話取扱停止(事務室休業)		
9 (水)	窓口・電話取扱停止(事務室休業)		
10 (木)	窓口・電話取扱停止(事務室休業)		
11 (金)	山の日		
12 (土)	窓口・電話取扱停止(事務室休業)		
13 (日)			
14 (月)	窓口・電話取扱停止(事務室休業)		
15 (火)	窓口・電話取扱停止(事務室休業)	単位認定試験(筆記)第3回申込締切	
16 (水)			
17 (木)	夏期3期S①	春学期単位認定試験(論文)提出期限 (~16:45必着) 科目等履修生(後期生)出願開始(~9/6)	P.30、31
18 (金)	夏期3期S②	春学期単位認定試験(論文)申請受付 停止期間(~9/30) 単位認定試験(筆記)第3回受験票出力 可能日	
19 (土)	夏期3期S③ 窓口・電話取扱停止		
20 (日)	単位認定試験(筆記)第3回 窓口・電話取扱停止		
21 (月)	夏期4期S①		
22 (火)	夏期4期S②		
23 (水)	夏期4期S③		
24 (木)	夏期5期S①		
25 (金)	夏期5期S② 窓口・電話取扱停止		
26 (土)	夏期5期S③ 窓口・電話取扱停止		
27 (日)			
28 (月)			
29 (火)			
30 (水)			
31 (木)			

9月	行事予定	手続期間	[東洋通信] 参照ページ
1 (金)	窓口・電話取扱停止(事務室休業)		
2 (土)	窓口・電話取扱停止(事務室休業)		
3 (日)			
4 (月)		後期生(正科生)休学手続・復学手続 (~9/28)	P.21
5 (火)			
6 (水)		科目等履修生(後期生)出願締切	
7 (木)			
8 (金)			
9 (土)	窓口・電話取扱停止(事務室休業)		
10(日)			
11(月)			
12(火)			
13(水)			
14(木)			
15(金)			
16(土)	学位記授与式・卒業式 10:30~ 窓口・電話取扱停止		P.8
17(日)			
18(月)	敬老の日		
19(火)			
20(水)			
21(木)			
22(金)			
23(土)	秋分の日 通学課程(通年S)授業実施		
24(日)			
25(月)			
26(火)			
27(水)			
28(木)		後期生(正科生)休学手続・復学手続 締切	
29(金)			
30(土)			

Sはスクーリングを表します

10月	行事予定	手続期間	[東洋通信] 参照ページ
1 (日)		単位認定試験(筆記)第4回申込開始 (~10/14) 後期生(正科生)履修登録期間(~10/5) 2018年9月卒業予定者卒業論文題目 登録申請開始(~10/16)	P.9 P.28 P.6
2 (月)		後期生(正科生)学費納入期間 (~10/16)	P.21
3 (火)			
4 (水)			
5 (木)		後期生(正科生)履修登録締切	
6 (金)			
7 (土)			
8 (日)			
9 (月)	体育の日 通学課程(通年S)授業実施		
10 (火)			
11 (水)			
12 (木)			
13 (金)			
14 (土)		単位認定試験(筆記)第4回申込締切	
15 (日)			
16 (月)		後期生(正科生)学費納入締切 2018年9月卒業予定者卒業論文題目 登録申請締切	
17 (火)			
18 (水)		単位認定試験(筆記)第4回受験票出力 可能日	
19 (木)			
20 (金)			
21 (土)	単位認定試験(筆記)第4回	第3回メディア授業申込開始 (~10/30)	10月号掲載予定
22 (日)			
23 (月)			
24 (火)			
25 (水)		土曜3期S申込開始(~10/31) 日曜2期S申込開始(~10/31)	10月号掲載予定 10月号掲載予定
26 (木)			
27 (金)			
28 (土)	後期新入生オリエンテーション 第1回 10:30~12:30 「介護等体験」登録説明会 14:00~15:00 学習の進め方・レポートの書き方説明会② 13:30~15:00		10月号掲載予定
29 (日)			
30 (月)		第3回メディア授業申込締切	
31 (火)		土曜3期S申込締切 日曜2期S申込締切	

Sはスクーリングを表します

卒業論文題目登録申請について **後期正科生対象**【再掲】

後期生のうち、下記の条件を満たす学生は、2018年9月卒業に向けて、卒業論文題目登録の申請を必ず行ってください。

この手続を所定の期日までに行わない場合、2018年9月の卒業に向けた卒業論文の執筆ができなくなるので、注意してください。

●卒業論文題目登録申請の条件

- ・2018年9月に卒業の意思がある後期生
- ・2017年9月末までに卒業必要単位(124単位)の内、84単位以上を修得していること
- ・2018年9月末までにスクーリングでの卒業要件単位を修得できている、または修得の見込があること
- ・題目登録申請期間までに、卒業論文の指導を希望する教員に内諾を取っていること(教員との連絡方法は、卒業論文説明会・指導会配布資料を参照)

●卒業論文題目登録申請方法

卒業論文題目登録は、ToyoNet-Gで行います。

手続方法は卒業論文説明会・指導会配布資料を参照してください。

(説明会・指導会に参加できない学生は、次ページの方法に従い資料請求してください)

●申請期間

2017年10月1日(日)0:00～10月16日(月)23:59

※ToyoNet-Gは、毎週木曜日の21:30～23:30に定期メンテナンスを実施するため、利用できません。予めご了承ください。

●卒業論文題目登録申請に関する注意事項

卒業論文題目登録申請を行う学生は、予め卒業論文説明会・指導会に参加するか、卒業論文説明会・指導会配布資料を請求し熟読してください。

※以前に卒業論文の題目登録申請を行い、提出に至らなかった学生が、2017年度卒業論文作成にとりかかるためには、改めて今年度の資料を入手し、教員への内諾・卒業論文題目登録申請を行うことが必要です。

◆卒業論文説明会・指導会配布資料の請求について

卒業論文説明会・指導会に参加できない学生は、次ページの手続にて資料を請求してください。卒業論文提出時に必要な書類も同封していますので、2017年度以前に説明会・指導会に参加した学生であっても必ず今年度の資料を入手してください。

●請求方法

以下を同封し通信教育課に提出してください。

- ・任意のA4用紙に、学部学科、学籍番号、氏名、「卒業論文説明会・指導会配布資料送付希望」と明記したもの
 - ・返信用封筒(角2封筒、郵便番号・住所・氏名記載済)
- ※文学部：205円分の切手、法学部：140円分の切手を貼付してください。

請求期間：2017年7月24日(月)～9月15日(金)必着

※資料は上記請求期間に窓口でも配布しております。

●その他

※過去に提出された卒業論文の一部を通信教育課で保管しています。閲覧希望の方は窓口へ申し出てください。

※卒業の条件として、卒業に必要な単位(124単位)のうち、30単位分(2年次編入生は23単位、3年次編入生は15単位)のスクーリング単位が必要ですので、未充足の卒業予定者は、2018年9月末までにスクーリング単位が満たせるよう、計画的にスクーリングを受講してください。

2017年9月学位記授与式・卒業式

通信教育部では、2017年9月16日に新たな卒業生を送り出します。

つきましては、通信教育部学位記授与式・卒業式を下記のとおり举行しますので、お知らせいたします。

1. 日 時：2017年9月16日(土) 10：30～(開式)
(列席者は10分前には着席してください)
2. 場 所：本学白山キャンパス 6203教室(6号館2階)
※詳細は卒業決定通知にてお知らせします

※卒業判定の日程の都合上、卒業単位充足者発表は2017年9月上旬にToyoNet-Gのお知らせで通知し、卒業予定者への卒業決定通知は、追って発送いたします。

単位認定試験(筆記) 第3回・第4回

単位認定試験(筆記)第3回・第4回を下記の要領で実施します。

◇申請から実施までのスケジュール

No.		第3回	第4回
1	申請期間	8月1日(火)～8月15日(火)	10月1日(日)～10月14日(土)
2	受験票出力	8月18日(金)から可能	10月18日(水)から可能
3	実施日	8月20日(日)	10月21日(土)
4	集合時間	12:40(時間厳守)	

◇開催地・会場

開催地	会場	所在地	電話
東京	本学白山キャンパス※1	東京都文京区白山5-28-20	03-3945-7348

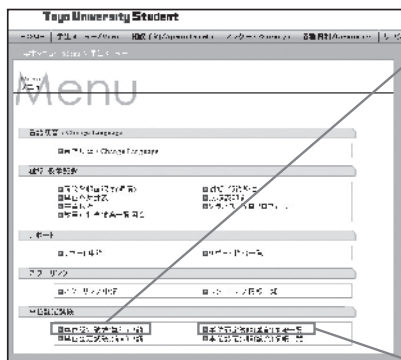
※1 試験教室は、受験者宛に試験実施日の約5日前よりToyoNet-Gの「お知らせ(教務関係)」に掲出します。学内では、キャンパス入口(警備室の掲示)及び通信教育課前掲示板に掲出します。

※2 著しく申請者が少ない場合は中止することがあります。

◇受験申請手続

ToyoNet-Gで申請手続を行ってください。

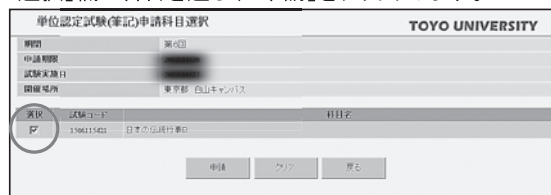
○筆記試験申請方法(ToyoNet-G)



①ToyoNet-Gの学生メニューより「単位認定試験(筆記)申請」をクリックします。

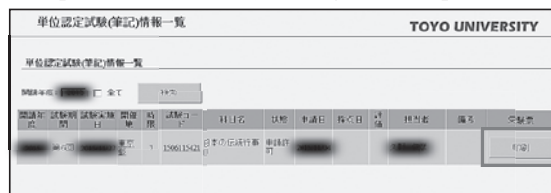
②開催場所(試験会場)等を選択し、「検索」をクリックします。

③「選択」欄で科目を選び、「申請」をクリックします。



④「単位認定試験(筆記)情報一覧」をクリックします。

⑤「印刷」をクリックし、「単位認定試験(筆記)受験票」を印刷します。



[注] 「ToyoNet-G」で行う「単位認定試験(筆記)」の申請は、システムメンテナンス時(毎週木曜 21:30～23:30)を除き、通信教育課休業日も利用可能です。

単位認定試験(筆記) 第3回・第4回

◇実施科目

基盤教育科目・共通総合科目

授業コード	科目名	担当教員名
Y700191010	現代日本文学A	早川 芳枝
Y700201010	現代日本文学B	早川 芳枝
Y705098020	英語Ⅲ①	シムズダイリョート
Y705099020	英語Ⅲ②	高波 幸代
Y706131010	スポーツ健康科学講義	谷釜 尋徳

文学部専門科目

授業コード	科目名	担当教員名
Y715022010	日本文学文化概説A②	石田 仁志
Y715032010	日本文学文化概説B②	石田 仁志
Y716241010	古典文法A	田貝 和子
Y716251010	古典文法B	田貝 和子
Y715261010	古典文法	田貝 和子
Y716501010	作家作品研究(中古)A	大野 祐子
Y716511010	作家作品研究(中古)B	大野 祐子
Y715371010	作家作品研究(中古)	大野 祐子
Y716561010	作家作品研究(近現代)A	宮内 淳子
Y716571010	作家作品研究(近現代)B	宮内 淳子
Y715401010	作家作品研究(近現代)	宮内 淳子
Y715411010	日本の伝統行事A	久野 俊彦
Y715421010	日本の伝統行事B	久野 俊彦
Y715641010	日本の古典籍A	和田 琢磨
Y715651010	日本の古典籍B	和田 琢磨
Y715661010	日本民俗学A	久野 俊彦
Y715671010	日本民俗学B	久野 俊彦

図書館司書科目

授業コード	科目名	担当教員名
Y719601010	図書館情報資源概論	大塚奈奈絵

法学部専門科目

授業コード	科目名	担当教員名
Y741421010	憲法A	名雪 健二
Y741431010	憲法B	名雪 健二
Y740021010	憲法	名雪 健二
Y742131010	民法I(総則)A	小林 秀年
Y742141010	民法I(総則)B	小林 秀年
Y741461010	民法I部(総則)A	小林 秀年
Y741471010	民法I部(総則)B	小林 秀年
Y740031010	民法I部(総則)	小林 秀年
Y742111010	刑法I(総論)A	小坂 亮
Y742121010	刑法I(総論)B	小坂 亮
Y741441010	刑法I部(総論)A	小坂 亮
Y741451010	刑法I部(総論)B	小坂 亮
Y740071020	刑法I部(総論)	小坂 亮
Y742211010	民法IV(債権各論)A	大坂 恵里
Y742221010	民法IV(債権各論)B	大坂 恵里
Y741541010	民法IV部(債権各論)A	大坂 恵里
Y741551010	民法IV部(債権各論)B	大坂 恵里
Y740061010	民法IV部(債権各論)	大坂 恵里
Y742231010	民法V(親族・相続)A	中村 恵
Y742241010	民法V(親族・相続)B	中村 恵
Y741561010	民法V部(親族・相続)A	中村 恵
Y741571010	民法V部(親族・相続)B	中村 恵
Y741351010	民法V部(親族・相続)	中村 恵
Y741101010	民法V部(身分法)	中村 恵
Y742151010	刑法II(各論)A	武藤 眞朗
Y742161010	刑法II(各論)B	武藤 眞朗
Y741481010	刑法II部(各論)A	武藤 眞朗
Y741491010	刑法II部(各論)B	武藤 眞朗
Y740081020	刑法II部(各論)	武藤 眞朗
Y741661010	商法総則	遠藤 喜佳
Y741671010	商行為法	遠藤 喜佳
Y741281010	商法総則・商行為法	遠藤 喜佳
Y740091010	商法I部(総則・商行為)	遠藤 喜佳
Y741681010	会社法A	堀口 勝
Y741691010	会社法B	堀口 勝
Y741291010	会社法	堀口 勝
Y740101010	商法II部(会社法)	堀口 勝
Y741701010	手形法・小切手法A	井上 貴也
Y741711010	手形法・小切手法B	井上 貴也
Y741301010	手形法・小切手法	井上 貴也
Y740111020	商法III部(手形・小切手法)	井上 貴也
Y709621010	社会地歴指導法I	田中 政美
Y709631010	社会地歴指導法II	田中 政美

◇試験時間割

	1時限目	2時限目
1科目受験者	13:00~14:00	/
2科目受験者	13:00~14:00	

◇注意事項

受験時

- ・ 受験会場内ではすべて試験監督の指示に従うこと。
- ・ 「学生証」(または「科目等履修生証」)、「単位認定試験(筆記)受験票」(ToyoNet-Gより各自で出力(P. 9の図を参照))を必ず持参し、机上に提示する。
- ・ 試験開始後20分までに入室しないと受験資格を失う。交通機関等の遅延により、遅刻して入室した場合でも時間延長や別室受験は認めない。受験に際しては時間に余裕をもつてのぞむこと。
- ・ 開始後30分を経過したら退出できる。中途退出した場合、当該試験時間内の再入室は認めない。
- ・ 2科目の受験者で、1時限目を欠席した場合、2時限目の試験は「受験票」の2時限目に表示されている科目のみ受験を許可する。ただし、繰り上げ時限の受験は認めない。
- ・ 解答に必要なもの以外は机上に置かず、カバン等の中に入れること。
- ・ 試験実施中、携帯電話、スマートフォン等の電源は必ず切ること。また、これらを時計の代わりとして使用することも禁止する。
- ・ 受験会場での電子機器(電子辞書、電子図書、ポケットコンピュータ等)の使用は認めない。
- ・ 解答用紙の所定欄に、万年筆またはボールペンの黒かブルーブラック(消せるボールペン等の使用は不可)で学籍番号・氏名を記入する。解答は、鉛筆書きでもよい。
- ・ 受験会場への持込が許可されているものの学生間での貸し借りは不正行為とみなす。
- ・ 不正行為を行った場合は、東洋大学通信教育課程学生の学習における不正行為に対する取扱基準に則り、処分する。

○持ち込み可の試験について

テキスト・プリント教材等は、現行の科目担当教員が指定しているものに限ります。

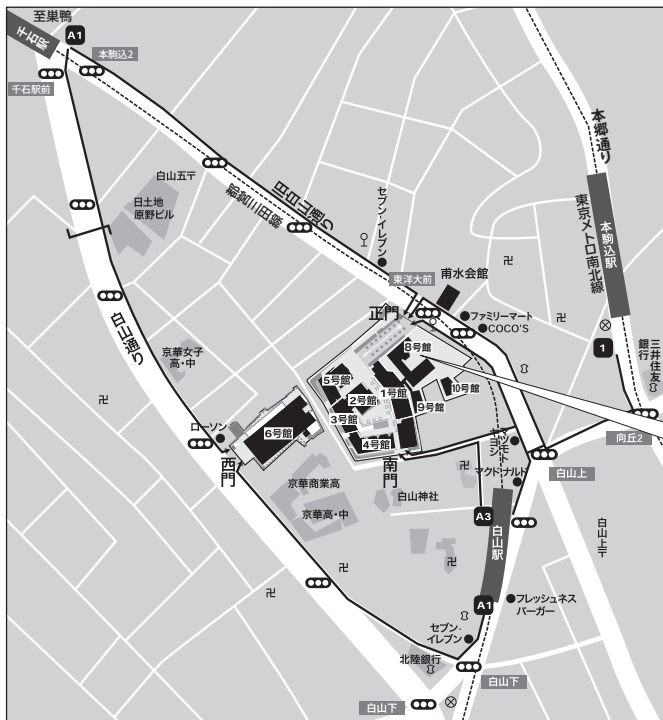
○【法学部対象】 単位認定試験(筆記)における六法の貸出について(重要)

単位認定試験(筆記)において、法学部専門科目については、当日、受験会場にて貸出される六法を用いて解答することになっています。指定六法(大学貸出六法)は、『ポケット六法』(有斐閣)です。個人で所有する六法は試験中に使用できませんのでご注意ください。

※貸出された六法に書き込みを行うことは不正行為となるので、絶対に行わないこと。

◇会場案内図

東洋大学 白山キャンパス 〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20



アクセス

- 都営地下鉄三田線「白山」駅5分
- 都営地下鉄三田線「千石」駅7分
- 東京メトロ南北線「本駒込」駅5分
- 東京メトロ千代田線「千駄木」駅15分

8号館2F
通信教育課(事務室)

第3回(8月20日実施分) 担当教員による学習上のアドバイス

科目名	担当教員名	試験場への持込	重点的学習範囲
現代日本文学A	早川(芳)	テキスト・ 教材プリント	「補陀落渡海記」を読み、次の2点について考えをまとめておいてください。 ①同じ異界の存在を信じる、あるいは異界に対して共通認識を持つことで、異界を共有している人物は誰か。 ②補陀落渡海をしない一般の人々にとって補陀落に渡海する僧はどのような存在として捉えられているか。
現代日本文学B		テキスト	泉鏡花の「龍潭譚」を読み、以下の点について考えをまとめておいてください。 主人公「われ(千里)」が異界へと赴く時と、異界からこちら側へ戻る時にどのような境界が設定されていますか。これは場所だけとは限りません。作品の流れに沿って、何が境界を飛び越える契機となっているかを考えておいてください。
英語Ⅲ①	ショート	不可	試験範囲は課題1及び2で学んだ部分全てとなります。試験問題の多くが課題の設問と同じ、もしくは類似した問いとなるため、課題で勉強したところを何度も復習して試験に臨んで下さい。
英語Ⅲ②	高波	テキスト	・テキスト(Different Realities)のChapter5、8から出題します。 ・英単語の意味を各章から【10題】ずつ、英文訳を各章から【3題】ずつ出題します。 ・テキストのみ、持ち込み可とします。辞書、自筆ノート、プリント類の持ち込みは不可です。 ・教科書への書き込みは可能。必要と思われる情報(単語の意味や英文訳)は、事前に手書きで記入しておきましょう。
スポーツ健康科学講義	谷釜	不可	テキスト『教養としての体育原理』129～131ページをよく読んで、「勝利至上主義」について整理しておいてください。
日本文学文化概説A②	石田	すべて可	教科書の第九章から出題します。文中で言及されている文学テキスト、作家、用語、事項について自分で調べ、しっかりと内容を理解しておいてください。特に「日本主義」「日本的浪漫」という用語についてはしっかりと勉強しておくように。
日本文学文化概説B②			教科書の第十三章から出題します。文中で言及されている文学テキスト、作家、用語、事項について自分で調べ、しっかりと内容を理解しておいてください。特に美術と文学作品との関係について自分の考えをまとめておくように。
古典文法A	田貝	不可	設問は大きく四題にわかれています。具体的には(一)詞と辞(二)文節の相互関係(三)単語の分類(四)用言の活用の種類と活用形です。 テキストを良く理解し、〔課題〕はもとより、本文中の例題も文節・単語に分け、品詞や用法を確認すると良いでしょう。
古典文法B			設問は大きく四題にわかれています。具体的には(一)詞と辞(二)文節の相互関係(三)単語の分類(四)辞の種類と用法、活用形です。 文法は理解の積み重ねで成り立っています。ですから古典文法Aの範囲も含まれていますので、十分注意してください。
古典文法			設問は大きく五題にわかれています。具体的には(一)詞と辞(二)文節の相互関係(三)単語の分類(四)用言の活用の種類と活用形(五)辞の種類と用法、活用形です。 テキストを良く理解し、〔課題〕はもとより、本文中の例題も文節・単語に分け、品詞や用法を確認すると良いでしょう。
作家作品研究(中古)A	大野(祐)	すべて可	試験問題は、レポート課題、スクーリングの講義内容から出題されます。テキストを通読し、シラバスの解説などもよく理解しておいてください。
作家作品研究(中古)B			試験問題は、レポート課題、スクーリングの講義内容から出題されます。テキストを通読し、シラバスの解説などもよく理解しておいてください。
作家作品研究(中古)			試験問題は、レポート課題、スクーリングの講義内容から出題されます。テキストを通読し、シラバスの解説などもよく理解しておいてください。

第3回(8月20日実施分)

科 目 名	担当教員名	試験場への持込	重点的学習範囲
作家作品研究(近現代)A	宮内	すべて可	谷崎潤一郎『蘆刈』『春琴抄』は、語りに特質がある小説です。その特質を考えるにあたって、それぞれ、女性主人公がどのように描き出されているかに注目してみましょう。誰が、どのように女性主人公のことを語っているかに注目して分析し、以下の二点について、それぞれまとめましょう。そのとき、お遊さまや春琴について、好ましくない点まで語られていることに留意しましょう。テキストを熟読することが第一ですが、先行文献に当たり、そこからヒントを探すこともできます。シラバスにある参考文献を探してみてください。本文は、できるだけ『谷崎潤一郎全集』(中央公論社)にある旧仮名遣いのテキストで読んでください。 ①『蘆刈』のお遊さまは、どのように語られているか。誰が、誰に、どのような状況で語っているかに留意。 ②『春琴抄』の春琴は、どのように語られているか。誰が、誰に、どのような状況で語っているか、また書かれているか、に留意。
作家作品研究(近現代)B			まず、泉鏡花『草迷宮』をしっかりと読みましょう。できるだけ『鏡花全集』(岩波書店)で読んで下さい。『草迷宮』は、語り手が変化してゆきますから、そこに注意しながら、登場人物の整理、時間の経緯の整理、また舞台となった土地がどこで、主人公の葉越明はどう放浪してきたか、といった内容の把握をしっかりと行ってください。その上で、主人公の明が移歌を探している理由、探す方法、今後、明は移歌を聴けるのか、という三点について答えられるようにまとめておいてください。
作家作品研究(近現代)			(1)谷崎潤一郎『蘆刈』『春琴抄』は、語りに特質がある小説です。その特質を考えるにあたって、それぞれ、女性主人公がどのように描き出されているかに注目してみましょう。誰が、どのように女性主人公のことを語っているかに注目して分析し、以下の二点について、それぞれまとめましょう。そのとき、お遊さまや春琴について、好ましくない点まで語られていることに留意しましょう。テキストを熟読することが第一ですが、先行文献に当たり、そこからヒントを探すこともできます。シラバスにある参考文献を探してみてください。本文は、できるだけ『谷崎潤一郎全集』(中央公論社)にある旧仮名遣いのテキストで読んでください。 ①『蘆刈』のお遊さまは、どのように語られているか。誰が、誰に、どのような状況で語っているかに留意。 ②『春琴抄』の春琴は、どのように語られているか。誰が、誰に、どのような状況で語っているか、また書かれているか、に留意。 (2)まず、泉鏡花『草迷宮』をしっかりと読みましょう。できるだけ『鏡花全集』(岩波書店)で読んで下さい。『草迷宮』は語り手が変化しますから、そこに注意しながら、登場人物の整理、時間の経緯の整理、また舞台となった土地がどこで、主人公の葉越明はどう放浪してきたか、といった内容の把握をしっかりと行ってください。その上で、主人公の明が移歌を探している理由、探す方法、今後、明は移歌を聴けるのか、という三点について答えられるようにまとめておいてください。
日本の伝統行事A	久野	すべて可	テキスト『年中行事読本』冬の巻、及び『シラバス』にあげた参考書・事典などで、「正月行事」について理解を深めてください。その観点から、あなたの家や地域の年末から年始にかけての行事食である「年取り膳・雑煮・おせち料理・七草がゆ」を記録してみましょう。都道府県史・市区町村史の民俗編で調べてノートにまとめましょう。持ち込みはすべて可です。
日本の伝統行事B			テキスト『年中行事読本』夏・秋の巻、及び『シラバス』にあげた参考書・事典などで、「盆行事・彼岸行事」について理解を深めてください。その観点から、「盆行事・彼岸行事」と「先祖(死者)」とのかわりを捉えてみましょう。自家の事例や、都道府県史・市区町村史の民俗編で、行事の事例を調べてノートにまとめましょう。持ち込みはすべて可です。
日本の古典籍A	和田	不可	『書誌学入門』39ページから47ページを特に重点的に勉強しておいてください。用語は必ず暗記し、それぞれの語の意味も理解しておいてください。変体がな読解もテストに出します。字母も覚えるとともに、簡単な漢字も読めるように普段から勉強しておいてください。変体がな問題は田代・山中・和田編『変体がなで読む日本の古典』(新典社、2016年)から出題します。
日本の古典籍B			『書誌学入門』144ページから156ページを特に重点的に勉強しておいてください。用語は必ず暗記し、それぞれの語の意味も理解しておいてください。変体がな読解もテストに出します。字母も覚えるとともに、簡単な漢字も読めるように普段から勉強しておいてください。変体がな問題は田代・山中・和田編『変体がなで読む日本の古典』(新典社、2016年)から出題します。

科目名	担当教員名	試験場への持込	重点的学習範囲
日本民俗学A	久野	すべて可	テキスト『日本民俗学』の第二部五章「年中行事」(p139~p158)を読み、年中行事について理解してください。その観点から、あなたの家や地域の正月行事・小正月行事・節分行事の実際を捉えてください。行事を準備から実施にいたるまで、できるだけ聞き書きで調べましょう。都道府県史・市区町村史の民俗編でも調べましょう。資料の持ち込みはすべて可とします。
日本民俗学B			テキスト『日本民俗学』第二部三章「生業」(p94~p118)を読み、民俗学が研究対象とする「生業」について理解してください。その観点から、伝統的な農作業(稲作・畑作)・漁法・狩猟法や、さまざまなものづくりの職人の仕事についてのいずれかを実態的に捉えてください。職人は、会社やお店・家で技術を伝えている方と捉えれば、たくさんいます。自分の身の回りに事例があれば調べて記録し、都道府県史・市区町村史の民俗編を参照しましょう。資料の持ち込みはすべて可とします。
図書館情報資源概論	大塚	不可	テキスト全体より幅広く出題します。テキストの図書館情報資源の特質をまとめておいて下さい。図書館の各業務(資料の収集と蓄積・保管、評価のプロセスやメディア変換など)、出版についての基本的な知識についても整理しておいて下さい。
憲法A	名雪	指定六法	基本的人権から2問出題。2017年度のリポートの課題からは出題しない。
憲法B			統治機構(天皇を除く)から2問出題。2017年度のリポートの課題からは出題しない。
憲法			基本的人権から2問出題。2017年度のリポートの課題からは出題しない。
民法I(総則)A 民法I部(総則)A	小林(秀)	指定六法	課題を中心に復習し、あわせてテキスト(p.1~p.156)を熟読しておくこと。
民法I(総則)B 民法I部(総則)B			課題を中心に復習し、あわせてテキスト(p.157~p.260)を熟読しておくこと。
民法I部(総則)			課題を中心に復習し、あわせてテキスト(p.1~p.156)を熟読しておくこと。
刑法I(総論)A 刑法I部(総論)A	小坂	不可	刑法上の因果関係
刑法I(総論)B 刑法I部(総論)B			構成要件的事実の錯誤(具体的事実の錯誤)
刑法I部(総論)			刑法上の因果関係
民法IV(債権各論)A 民法IV部(債権各論)A	大塚	指定六法	売買契約の手付について十分に勉強しておいてください。
民法IV(債権各論)B 民法IV部(債権各論)B			責任無能力者の監督者責任について十分に勉強しておいてください。
民法IV部(債権各論)			売買契約の手付について十分に勉強しておいてください。
民法V(親族・相続)A 民法V部(親族・相続)A	中村(恵)	指定六法	裁判離婚に関する事例問題を出します。
民法V(親族・相続)B 民法V部(親族・相続)B			相続財産に関する事例問題を出します。
民法V部(親族・相続)			裁判離婚に関する事例問題を出します。
民法V部(身分法)			

単位認定試験(筆記) 第3回

第3回(8月20日実施分)

科目名	担当教員名	試験場への持込	重点的学習範囲
刑法Ⅱ(各論)A 刑法Ⅱ部(各論)A	武藤	指定六法	監禁罪
刑法Ⅱ(各論)B 刑法Ⅱ部(各論)B			財産犯における「占有」概念
刑法Ⅱ部(各論)			監禁罪
商法総則	遠藤(喜)	指定六法	名板貸の法律問題
商行為法			名板貸の法律問題
商法総則・商行為法			名板貸の法律問題
商法Ⅰ部(総則・商行為)			
会社法A	堀口	指定六法	課題1に対応
会社法B			課題1に対応
会社法			課題1に対応
商法Ⅱ部(会社法)			
手形法・小切手法A	井上	指定六法	課題1～2について十分に復習しておくこと。
手形法・小切手法B			課題1～2について十分に復習しておくこと。
手形法・小切手法			課題1～2について十分に復習しておくこと。
商法Ⅲ部(手形・小切手法)			
社会地歴指導法Ⅰ	田中	すべて可	○総合的な「社会科」がアメリカで成立した過程と教科内容を学習しなさい。また、戦後のわが国が総合的な「社会科」を採用した時代背景や理由についても学習しなさい。教科書の第3章及びレポート課題1が参考になります。
社会地歴指導法Ⅱ			○学校教育における教育課程の意義を学習しなさい。教科書の第2章及び参考文献序章、第5章が参考になります。
			○わが国の戦後の学習指導要領の変遷を、時代の背景と教育施策の変遷を含めて学習しなさい。参考文献の第2章及びレポート課題1が参考になります。
			○わが国の戦後の社会系の教科・科目の変遷を学習しなさい。教科書の第3章とレポート課題1が参考になります。
			○社会系教科・科目の授業づくりでのポイントを学習しなさい。授業教科書の第5章も参考になります。
			○『中学校学習指導要領解説 社会科編』、『高等学校学習指導要領解説 地理歴史編』を参照して、改訂の基本方針、教科の目標などを学習しなさい。
			また社会系の教科・科目の授業形態についても学習してください。学習指導要領解説及び教科書や参考文献の実践事例が参考になります。
			○現行の『中学校生徒指導要録』、『高等学校生徒指導要録』について、学習評価に関する評価基準や特色を学習しなさい。教科書の第17章及び文部科学省のホームページ、社会地歴指導法Ⅰの参考文献の第6章が参考になります。

第4回(10月21日実施分) 担当教員による学習上のアドバイス

科目名	担当教員名	試験場への持込	重点的学習範囲
現代日本文学A	早川(芳)	テキスト・教材プリント	<p>「Kの昇天」と「補陀落渡海記」を次の観点から読み直し、考えをまとめておいてください。</p> <p>①同じ異界の存在を信じる、あるいは異界に対して共通認識を持つことで、異界を共有している人物は誰か。</p> <p>②その異界がどのような場であるかが分からない状況でも、異界の共有は可能であるか。</p>
現代日本文学B		テキスト	<p>「西班牙犬の家」を読み、次の2点について考えをまとめておいてください。</p> <p>①この作品における異界と日常世界を隔てる境界と、それを超える際のきっかけは何でしょうか。</p> <p>②この林の中にある不思議な家が、ある種の異界として定義できる理由には何が考えられますか。</p>
英語Ⅲ①	ショート	不可	試験範囲は課題1及び2で学んだ部分全てとなります。試験問題の多くが課題の設問と同じ、もしくは類似した問いとなるため、課題で勉強したところを何度も復習して試験に臨んで下さい。
英語Ⅲ②	高波	テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト(Different Realities)のChapter6、7から出題します。 ・英単語の意味を各章から【10題】ずつ、英文訳を各章から【3題】ずつ出題します。 ・テキストのみ、持ち込み可とします。辞書、自筆ノート、プリント類の持ち込みは不可です。 ・教科書への書き込みは可能。必要と思われる情報(単語の意味や英文訳)は、事前に手書きで記入しておきましょう。
スポーツ健康科学講義	谷釜	不可	テキスト『教養としての体育原理』132～134ページをよく読んで、「オリンピックズム」について整理しておいてください。また、昨今のオリンピックのニュースにも目を配っておいてください。
日本文学文化概説A②	石田	すべて可	教科書の第十章から出題します。文中で言及されている文学テキスト、作家、用語、事項について自分で調べ、しっかりと内容を理解しておいてください。とくに「相関文化」とはどのような歴史的背景から説明できるか、考えてください。
日本文学文化概説B②			教科書の第十四章から出題します。文中で言及されている文学テキスト、作家、用語、事項について自分で調べ、しっかりと内容を理解しておいてください。とくに「曖昧性」や「テキスト」「脱構築」という用語の意味するところについて、よく考えてください。
古典文法A	田貝	不可	設問は大きく四題にわかれています。具体的には(一)詞と辞(二)文節の相互関係(三)単語の分類(四)用言の活用の種類と活用形です。テキストを良く理解し、(課題)はもとより、本文中の例題も文節・単語に分け、品詞や用法を確認すると良いでしょう。
古典文法B			設問は大きく四題にわかれています。具体的には(一)詞と辞(二)文節の相互関係(三)単語の分類(四)辞の種類と用法、活用形です。文法は理解の積み重ねで成り立っています。ですから古典文法Aの範囲も含まれていますので、十分注意してください。
古典文法			設問は大きく五題にわかれています。具体的には(一)詞と辞(二)文節の相互関係(三)単語の分類(四)用言の活用の種類と活用形(五)辞の種類と用法、活用形です。テキストを良く理解し、(課題)はもとより、本文中の例題も文節・単語に分け、品詞や用法を確認すると良いでしょう。
作家作品研究(中古)A	大野(祐)	すべて可	試験問題は、レポート課題、スクーリングの講義内容から出題されます。テキストを通読し、シラバスの解説などもよく理解しておいてください。
作家作品研究(中古)B			試験問題は、レポート課題、スクーリングの講義内容から出題されます。テキストを通読し、シラバスの解説などもよく理解しておいてください。
作家作品研究(中古)			試験問題は、レポート課題、スクーリングの講義内容から出題されます。テキストを通読し、シラバスの解説などもよく理解しておいてください。

第4回(10月21日実施)

科目名	担当教員名	試験場への持込	重点的学習範囲
作家作品研究(近現代)A	宮内	すべて可	谷崎潤一郎が昭和8年に発表した随筆「陰翳礼讃」を、できるだけ『谷崎潤一郎全集』(中央公論社)から探して読みましょう。その上で、ここで示された美学が、『吉野葛』『蘆刈』『春琴抄』の世界とどうつながっているか、考えておいてください。こうした作品を書いた時期を、谷崎潤一郎の「古典回帰時代」と呼んでいます。「陰翳礼讃」は谷崎の古典回帰時代の美学とも結びつけて考えられています。古典回帰の時代の谷崎がそれまでとどう違うのか考えるため、「刺青」でデビューしてから「痴人の愛」までの谷崎の仕事とその傾向を調べておいてください。『鑑賞日本現代文学8 谷崎潤一郎』(角川書店、1982年)にも解説がありますから、参考にしてください。
作家作品研究(近現代)B			① 泉鏡花『草迷宮』には「稲生物怪録」(いいうものけろく・いいうぶっかいろく)の妖怪話や、子産石の伝説、秘歌などが織り込まれている。その効果について、『草迷宮』をしっかりと読んだ上で、考えておきましょう。『稲生物怪録絵巻』(『日本民俗資料集成 第8巻』三一書房、1988年)なども参考にしてください。 ② 泉鏡花『草迷宮』には夢幻能(むげんのう)に類似した構造があると言われている。どうしてそのように言われるのか。夢幻能について調べ、『草迷宮』をそれにあてはめて考えてみましょう。野口武彦「泉鏡花の人と作品」(『鑑賞日本現代文学3 泉鏡花』角川書店、1982年)、親世寿夫「夢幻能と中世の心」(『国文学解釈と鑑賞』(特集・夢)、1977年8月)などを参考にしてください。 なお『草迷宮』は、できるだけ『鏡花全集』(岩波書店)で、旧仮名遣いのテキストで読んでください。
作家作品研究(近現代)			① 谷崎潤一郎が昭和8年に発表した随筆「陰翳礼讃」を、できるだけ『谷崎潤一郎全集』(中央公論社)から探して読みましょう。その上で、ここで示された美学が、『吉野葛』『蘆刈』『春琴抄』の世界とどうつながっているか、考えておいてください。こうした作品を書いた時期を、谷崎潤一郎の「古典回帰時代」と呼んでいます。「陰翳礼讃」は谷崎の古典回帰時代の美学とも結びつけて考えられています。古典回帰の時代の谷崎がそれまでとどう違うのか考えるため、「刺青」でデビューしてから「痴人の愛」までの谷崎の仕事とその傾向を調べておいてください。『鑑賞日本現代文学8 谷崎潤一郎』(角川書店、1982年)にも解説がありますから、参考にしてください。 ② 泉鏡花『草迷宮』には「稲生物怪録」(いいうものけろく・いいうぶっかいろく)の妖怪話や、子産石の伝説、秘歌などが織り込まれている。その効果について、『草迷宮』をしっかりと読んだ上で、考えておきましょう。『稲生物怪録絵巻』(『日本民俗資料集成 第8巻』三一書房、1988年)などを参考にしてください。 ③ 泉鏡花『草迷宮』には夢幻能(むげんのう)に類似した構造があると言われている。どうしてそのように言われるのか。夢幻能について調べ、『草迷宮』をそれにあてはめて考えてみましょう。野口武彦「泉鏡花の人と作品」(『鑑賞日本現代文学3 泉鏡花』角川書店、1982年)、親世寿夫「夢幻能と中世の心」(『国文学解釈と鑑賞』1977年8月)などを参考にしてください。 なお『草迷宮』は、できるだけ『鏡花全集』(岩波書店)で、旧仮名遣いのテキストで読んでください。
日本の伝統行事A	久野	すべて可	テキスト『年中行事読本』冬の巻、及び『シラバス』にあげた参考書・事典などで、「節分行事」の「豆まき」「鬼」「厄落とし」について理解を深めてください。その観点から、現在の「節分行事」を捉えてみましょう。都道府県史・市区町村史の民俗編で調べてノートにまとめましょう。持ち込みはすべて可です。
日本の伝統行事B			テキスト『年中行事読本』夏の巻、及び事典などによって、富士山の山開きをはじめとして、各地の山の山開き(開山祭)について理解を深めてください。山に神霊がやどり信仰の対象となった山を霊山といい、山岳信仰の山開きが行われました。また、信仰とはかかわりない登山の山も山開きが行われます。身近な山の山開きの事例について調べましょう。山岳信仰・登山・ハイキングに関する本や都道府県史・市区町村史の民俗編で調べてノートにまとめましょう。持ち込みはすべて可です。

単位認定試験(筆記) 第4回

科目名	担当教員名	試験場への持込	重点的学習範囲
日本の古典籍A	和田	不可	『書誌学入門』48ページから61ページを特に重点的に勉強しておいてください。用語は必ず暗記し、それぞれの語の意味も理解しておいてください。変体がな読解もテストに出します。字母も覚えるとともに、簡単な漢字も読めるように普段から勉強しておいてください。変体がな問題は田代・山中・和田編『変体がなで読む日本の古典』(新典社、2016年)から出題します。
日本の古典籍B			『書誌学入門』157ページから162ページを特に重点的に勉強しておいてください。用語は必ず暗記し、それぞれの語の意味も理解しておいてください。変体がな読解もテストに出します。字母も覚えるとともに、簡単な漢字も読めるように普段から勉強しておいてください。変体がな問題は田代・山中・和田編『変体がなで読む日本の古典』(新典社、2016年)から出題します。
日本民俗学A	久野	すべて可	テキスト『日本民俗学』の第二部第六章「信仰」(p159~p180)を読み、「民間信仰」について理解してください。その中で、特に「俗信」について理解を深め、都道府県史・市区町村史の民俗編などを調べて、その地域の「俗信・占い・民間医療・まじない・妖怪」などの事例を集めておきましょう。自分や家族が知っている「俗信・まじない・占い」も集めてみましょう。資料の持ち込みはすべて可とします。
日本民俗学B			テキスト『日本民俗学』第二部四章(p119~p138)を読み、民俗学が研究対象とする「衣食住」について理解してください。その観点から、はれ着・ふだん着・仕事着、はれの食・ふだんの食について、または、住まいの間取りと各部屋の家具の配置と部屋の使い方について捉えてください。自分の身の回りから調べて記録し、都道府県史・市区町村史の民俗編を参照しましょう。資料の持ち込みはすべて可とします。
図書館情報資源概論	大塚	不可	テキスト全体より幅広く出題します。テキストの図書館情報資源の特質をまとめておいて下さい。図書館の各業務(資料の収集と蓄積・保管、評価のプロセスやメディア変換など)、出版についての基本的な知識についても整理しておいて下さい。
憲法A	名雪	指定六法	基本的人権から2問出題。2017年度のレポートの課題からは出題しない。
憲法B			統治機構(天皇を除く)から2問出題。2017年度のレポートの課題からは出題しない。
憲法			基礎的人権から2問出題。2017年度のレポートの課題からは出題しない。
民法I(総則)A 民法I部(総則)A	小林(秀)	指定六法	課題を中心に復習し、あわせてテキスト(p.1~p.156)を熟読しておくこと。
民法I(総則)B 民法I部(総則)B			課題を中心に復習し、あわせてテキスト(p.157~p.260)を熟読しておくこと。
民法I部(総則)			課題を中心に復習し、あわせてテキスト(p.1~p.156)を熟読しておくこと。
刑法I(総論)A 刑法I部(総論)A	小坂	不可	不真正不作為犯
刑法I(総論)B 刑法I部(総論)B			異なる構成要件間の錯誤(抽象的事実の錯誤)
刑法I部(総論)			不真正不作為犯
民法IV(債権各論)A 民法IV部(債権各論)A	大坂	指定六法	売買契約における売主の責任について十分に勉強しておいてください。
民法IV(債権各論)B 民法IV部(債権各論)B			使用者責任について十分に勉強しておいてください。
民法IV部(債権各論)			売買契約における売主の責任について十分に勉強しておいてください。

単位認定試験(筆記) 第4回

第4回(10月21日実施分)

科目名	担当教員名	試験場への持込	重点的学習範囲
民法Ⅴ(親族・相続)A 民法Ⅴ部(親族・相続)A	中村(恵)	指定六法	離婚の効果に関する事例問題を出します。
民法Ⅴ(親族・相続)B 民法Ⅴ部(親族・相続)B			遺産共有に関する事例問題を出します。
民法Ⅴ部(親族・相続)			離婚の効果に関する事例問題を出します。
民法Ⅴ部(身分法)			
刑法Ⅱ(各論)A 刑法Ⅱ部(各論)A	武藤	指定六法	殺人罪、自殺関与・同意殺人罪
刑法Ⅱ(各論)B 刑法Ⅱ部(各論)B			強盗罪、詐欺罪
刑法Ⅱ部(各論)			殺人罪、自殺関与・同意殺人罪
商法総則	遠藤(喜)	指定六法	詐害的な営業譲渡に関する問題
商行為法			詐害的な営業譲渡に関する問題
商法総則・商行為法			詐害的な営業譲渡に関する問題
商法Ⅰ部(総則・商行為)			
会社法A	堀口	指定六法	課題2に対応
会社法B			課題2に対応
会社法			課題2に対応
商法Ⅱ部(会社法)			
手形法・小切手法A	井上	指定六法	課題1～2について十分に復習をしておくこと。
手形法・小切手法B			課題1～2について十分に復習をしておくこと。
手形法・小切手法			課題1～2について十分に復習をしておくこと。
商法Ⅲ部(手形・小切手法)			
社会地歴指導法Ⅰ	田中	すべて可	<ul style="list-style-type: none"> ○教育課程の2つの基本的な考え方(経験主義、系統主義)について学習しなさい。参考文献の第2章、第4章が参考になります。 ○わが国の戦後(1945年以降)の中学校・高等学校の社会系教科・科目の変遷を学習しなさい。教科書の第3章とレポート課題1が参考になります。 ○『中学校学習指導要領解説 社会編』を参照して、改訂の趣旨、改訂の要点、各分野の内容を学習しなさい。レポート課題2が参考になります。
社会地歴指導法Ⅱ			<ul style="list-style-type: none"> ○授業の方法には、講義以外にも様々な方法が考案されています。また学習指導要領でも知識・概念とともに技能の習得が重視されており、言語活動の充実を含めて生徒が主体的に学習に取り組むことが目指されています。それぞれの授業方法について、授業の進め方、授業のねらい、実施上の注意点を学習しなさい。 ○高等学校地理歴史科の地理、世界史、日本史から1科目を選び、教科書や参考書を参照して1年間の授業の計画が立てられるよう、その科目の章立てや内容の構成をよくまとめておきなさい。 年間授業計画には、「教科・科目名」「単位数」のほか、「学習目標」…生徒を指導する上での学習の目標や学修到達基準、「学習方法」…主な授業方法及び学習方法、「月ごとに単元及び学習内容、指導上の留意点」、「評価の観点と方法」が記載されるのが標準形です。教科書の第7章「学習指導案の作成」及びレポート課題1「単元の指導計画」を参考にして下さい。また東京都教育委員会のホームページから各都立高校のホームページを検索すると、年間授業計画(シラバス)が掲載されています。参考にしてください。

学籍

正科生の在籍手続について(休学手続・休学からの復学手続を含む) **後期生対象**

後期生(10月入学生)は2017年10月1日から新年度が始まります。引き続き在籍するためには、下記の**手続**が必要となります。

◆学費の納入について

学費の振込用紙は2017年9月末頃に大学から送付します。振込用紙に印字されている金額を**期間内に納入**してください。

学費内訳

振込期間 2017年10月2日(月)～10月16日(月)厳守

新2～新4年生	授業料	100,000円
原級生	授業料	80,000円
休学する場合	休学料	20,000円

*** 振込期間に学費を納入しなかった学生は、東洋大学通信教育部学則第28条により除籍となります。**

◆学生証裏面シールの更新について

学生証の有効期限は2017年10月15日までです。通信教育課から学生証裏面シールを9月下旬に送付しますので、貼りかえてください。学生証裏面シールの有効期限が切れた学生証は無効となり、単位認定試験受験・スクーリング受講・図書館の利用ができません。また、通学定期・学割等の購入にも利用できません。

◆休学手続について

手続期間 2017年 9月4日(月)～ 9月28日(木)必着

振込期間 2017年10月2日(月)～10月16日(月)厳守

休学を希望する学生は下記2点を**手続期間内**に通信教育課へ送付してください。**休学用の振込用紙(金額20,000円)が送付されますので、その振込用紙を使用してください。**

休学中は、レポート提出、スクーリング受講などの一切の学習ができません。

また、休学は在学中2回(2年間)が限度となります。

必要書類等	
1	「休学願」(今月号P. 23に綴じ込まれています) ※本人と保証人(大学に届け出ている方)の署名・別々の印影での捺印が必要 ※保証人の署名・捺印は未成年者以外の方も必ず記入が必要 ※保証人はToyoNet-G「学生メニュー」→「個人情報管理」内「保証人情報照会」より確認可能
2	返信用封筒(長3〈縦23.5cm×横12cm〉サイズ) 宛名明記(「様」をつけること)、82円分切手貼付

※学生証自体の送付は不要です。

学籍

◆**休学からの復学手続について** 手続期間 2017年 9月4日(月)～ 9月28日(木)必着
振込期間 2017年10月2日(月)～10月16日(月)厳守

2016年度に休学し、2017年度復学を希望する学生は下記2点をまとめて**手続期間内に**通信教育課へ送付してください。9月末頃に学費の振込用紙を送付しますので振込期間内に納入してください。

2016年度に休学した学生は、復学手続を行わなければ、2017年度に学習することはできません。

必 要 書 類 等	
1	「復学願」(対象者には8月下旬に送付します) ※本人と保証人(大学に届け出ている方)の署名・別々の印影での捺印が必要 ※保証人の署名・捺印は未成年者以外の方も必ず記入が必要 ※保証人はToyoNet-G「学生メニュー」→「個人情報管理」内「保証人情報照会」より確認可能
2	返信用封筒(長3〈縦23.5cm×横12cm〉サイズ) 宛名明記(「様」をつけること)、82円分切手貼付

※学生証自体の送付は不要です。

◆**在籍手続についての注意**

- 一旦納入された学費は、返還できませんので注意してください。
- 休学・復学許可書(手続期間中に受付した申請が対象)については、**11月中旬**に送付します。

休 学 願 (後期生用)

東洋大学長 殿

学部・学科	学部	学科	在学中	・	休学中
学籍番号	7		学 年		年

フリガナ		
氏 名	携帯電話など連絡先 ()	<input type="checkbox"/> 各自署名・捺印すること (印鑑は異なる印影のものを使用)
保 証 人 氏 名		<input type="checkbox"/> 保証人については <u>大学に届け出ている保証人と同一者</u> であること。 <small>(※未成年者以外の方も保証人の署名・捺印は必要)</small>

私は、以下の理由により、2017年度 (2017年10月1日～2018年9月30日まで) 休学したく、許可されますようお願いいたします。

- 休学の理由
- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 家庭の事情のため | 2. 勤務の都合のため |
| ○をつけること | 3. 病気療養のため |
| 4. ケガ治療のため | 5. 経済的事情のため |
| 6. 進路再考のため | 7. その他 |

通信教育部学則 第26条第2項

休学の期間は、在学年数に算入しない。ただし、通算2年を限度とする。

〔必要書類等〕

「休学願」に返信用封筒 (長3 (縦23.5cm×横12cm) サイズ、宛名明記、82円分の切手貼付) を同封の上、送付してください。

※「休学願」の受付後、休学料 (20,000円) の振込用紙を送付しますので、期日までに納入してください。

大学記入欄

事務室受付	学籍担当	学費担当	委員会審議	教授会審議	決 裁

退学手続について **後期生対象**

手続期間 2017年9月4日(月)～10月16日(月)必着

事情により、退学を希望する学生は下記3点をまとめて**手続期間内**に通信教育課へ送付してください。

必要書類等	
1	「退学願」 ※通信教育課程ホームページの「申請・届出」内にある <u>本学通信教育課程指定書式</u> の「退学願」を使用してください。 ※本人と保証人(大学に届け出ている方)の署名・別々の印影での捺印が必要 ※保証人の署名・捺印は未成年者以外の方も必ず記入が必要 ※保証人はToyoNet-G「学生メニュー」→「個人情報管理」内「保証人情報照会」より確認可能
2	学生証(必ず返却してください)
3	返信用封筒(長3〈縦23.5cm×横12cm〉サイズ) 宛名明記(「様」をつけること)、82円分切手貼付

〈注意〉

- 書類を郵送する際は紛失等に備え、「**特定記録郵便**」を利用してください。
- 退学許可書(手続期間中に受付した申請が対象)については、**11月中旬**に送付します。
- 振込期間内に学費の納入がなく、「退学願」を提出しない場合は、除籍となります。

在学年限超過に伴う除籍について **後期生対象**

次の表1に該当する後期生で2017年9月に卒業できない学生は、2017年9月30日付で在学年限超過で除籍となります。この場合は、いかなる理由があっても、在学年限の延長はできません。

表1

	学籍番号の年度	これまでの休学期間
①	07	なし
②	06	1年
③	05	2年

- ◆除籍時に単位修得に至らなかった履修途中の科目の学習履歴は、すべて無効となります。
- ◆対象者には、9月下旬に通知書を郵送します。

科目等履修生の登録期間終了について **後期科目等履修生対象**

2017年9月30日で科目等履修生の登録期間は終了します。

終了後、科目等履修生証を「特定記録郵便」にて速やかに通信教育課まで返却してください。※通信教育課窓口での返却も可能です。

返却期限：2017年10月6日(金)

* 次年度も科目等履修生の登録を希望する場合は、次の項目を確認してください。

- ・ 登録期間終了日(2017年9月30日)までにToyoNet-G「学生メニュー」の「学習状況」で、自身の学習履歴を必ず確認してください。2017年10月1日以降はToyoNet-Gにログインできなくなります。

科目等履修生で改めて次年度の登録を希望する場合 **後期科目等履修生対象**

下記の要領で改めて次年度の登録手続きが必要です。

対 象：2017年10月1日以降も改めて登録を希望する方

出願期限：2017年9月6日(水)(当日消印有効)

出願方法：インターネット出願

「2017年度募集要項」に基づいて、東洋大学通信教育課程2017年度インターネット出願ガイダンスを熟読の上、出願してください。

募集要項の入手方法：通信教育課程入学案内サイト(<http://www.toyo.ac.jp/site/tsushin/>)から「2017年度募集要項」をダウンロードすることができます。

注意：2016年度単位修得に至らなかった科目のリポート合格やスクーリング合格などの学習履歴は引き継がれませんので、ご注意ください。

なお、2018年度以降は科目等履修生の募集を行わないため、2017年度(10月登録)が最後の募集となります。(2018年度以降は正科生の募集も行いません。)

計画的に学習を進めてください。

科目等履修生の証明書発行時の注意について **科目等履修生対象**

2012年度より科目等履修生の適用カリキュラムが変更になったことに伴い、下記対象者の該当証明書は、2枚での発行となります。

- * 対象者 登録期間が2011年度と2012年度にまたがる科目等履修生
- * 該当する証明書 「成績・単位修得証明書」および「学力に関する証明書」

- ・登録期間が上記以外の方は、1枚の証明書にて発行が可能です。
- ・登録期間を十分確認し、お申し込みください。

下記のような科目等履修生は2枚での証明書発行となります。

【例】登録期間：2008～2013年度

- ・「成績・単位修得証明書」

2008～2011年度分	……………	1枚(手数料300円)
2012～2013年度分	……………	1枚(手数料300円)
		合計2枚(手数料合計600円)
- ・「学力に関する証明書」

2008～2011年度分	……………	1枚(手数料300円)
2012～2013年度分	……………	1枚(手数料300円)
		合計2枚(手数料合計600円)

※手数料は郵便局発行の定額小為替のみの取り扱いとなります(現金・切手不可)。

予告 履修登録について 後期正科生対象

履修登録は、ToyoNet-Gを利用した手続になります。

手続方法はToyoNet-G「各種資料」掲載の『ToyoNet-G利用ガイドブック』「履修登録を行う(通信教育課程)」のページを確認してください。

1. 履修登録期間

2017年10月1日(日)～5日(木)

※ToyoNet-Gは、毎週木曜日の21:30～23:30に定期メンテナンスを実施するため利用できません。予めご了承ください。

※夜間・履修登録期間後半などはアクセスが集中しやすいため、時間に余裕をもって履修登録を行ってください。

2. 履修登録単位数

上限20単位(年2回)

※後期生は年度途中の入学であり、確定しているスケジュールが翌年の3月までであることから、科目選択に不明なことが多い中で履修登録を行うこととなります。そのため、履修登録については10月と4月の2回に分割してそれぞれ上限20単位ずつ登録を行います。

3. 対象学年

後期正科生1～4年生(原級生を除く)

※原級生の方は新規履修登録できません(諸資格科目は除く)。

4. 継続履修

やむなく、前年度に履修登録した科目で前年度内に単位の修得まで至らなかった場合は「継続履修」として自動的に科目が登録され、引き続き学習ができます(テキストが変更になっても、配本はありませんので各自でご用意ください)。

5. 追加履修科目

次の(1)～(3)に該当する科目は「追加履修科目」です。

追加履修科目は、今回の履修登録上限単位数の20単位には含まれず、テキスト配本もありません。

(1) 卒業要件に含まれない教職科目を履修する場合

(2) 編入学・転入学生が編入学・転入学年より低学年次配当の必修科目を履修する場合
・2016年度入学学年別 低学年次配当科目一覧

	2016年度2年次編入学・転入学生 (2017年度より3年次)	2016年度3年次編入学・転入学生 (2017年度より4年次)
文学部	基礎ゼミナール	基礎ゼミナール 日本文学文化概説A・B 日本語概説A・B
法学部	法学概論 憲法A 憲法B 刑法I部(総論)A 刑法I部(総論)B 民法I部(総則)A 民法I部(総則)B	

(3) 法学部の学生が、図書館司書科目・学校図書館司書教諭科目を履修する場合

6. 履修科目変更について

履修登録済みの科目について、以下の場合のみ同科目の別コースへ変更することが可能です(履修登録期間中に限る)。手続方法等詳細は、9月下旬に送付する「履修の手引き」を参照してください。

(1) 演習・実習科目のスクーリングに参加できないことによる科目変更

(2) 学習方法をメディア授業に変更：日本文学文化概説A・B、日本文学文化特講《古典》A
日本文学文化特講《古典》B、日本語学特講B

ただし、変更前のコースで学習した学習履歴は無効となり、変更後のコースのテキストが変更前のコースの配付済のテキストと異なる場合、そのテキストの変更は自己負担になります。予めご了承ください。

7. 受講条件対象科目について

受講条件のある「卒業論文」・「教育実習」・「教職実践演習」は通信教育課で確認のうえ、履修登録します。

各種期限について

●レポートについて

1) レポート課題の有効期間

申請および受付期間	受付締切	申請および受付停止期間
2017年10月1日～ 2018年1月15日	2018年1月15日(月) 16時45分	2018年1月16日～3月31日

●メディア授業について

1) メディア授業の受講期限

受講期間	注意事項
<ul style="list-style-type: none"> ・第3回 2017年11月8日～12月2日 ・第4回 2017年12月15日～2018年1月8日 	単位認定試験の受験が必要な科目の受験申請は、メディア授業の合格後に手続きできます。

●単位認定試験(論文)について

申請および受付期間	受付締切	申請および受付停止期間
2017年 4月1日～8月17日	2017年8月17日(木) 16時45分	2017年8月18日～9月30日
2017年10月1日～ 2018年2月13日	2018年2月13日(火) 16時45分	2018年2月14日～3月31日

※単位認定試験(論文)の解答期限は問題出力日より40日間ですが、申請が遅い場合は40日間が確保されず、上記期限までとなります。提出期限以降は一切受付できません。

●年度内の単位修得を必要とする場合の受講および受験期限

対象者	スクーリング試験 受験科目単位修得締切	スクーリング受講後 単位認定試験(論文・筆記) 受験必要科目受講締切	単位認定試験(筆記) 受験締切
2017年9月卒業・単位修得予定者 2017年9月修了科目等履修生	夏期5期 (8月26日終了分まで)	土曜2期 (7月29日終了分まで)	2017年8月20日
2018年3月卒業・単位修得予定者 転部・転科試験受験予定者 2018年3月修了科目等履修生	冬期1期 (1月8日終了分まで)	冬期1期 (1月8日終了分まで)	2018年2月18日

春学期の単位認定試験(論文)の申請および提出期限について

春学期の単位認定試験(論文)の申請および提出期限は、下記のとおりです。

◆単位認定試験(論文)申請・提出期限：**2017年8月17日(木)16:45【必着／厳守】**

※消印有効ではありませんので、ご注意ください。

※各種学習方法の期限詳細については、次の内容を確認してください。

- 1) P. 30「各種期限について」もしくは、6月号P. 47「2017年9月までに単位修得を必要とする場合の学習別実施期限について」
- 2) 通信教育部ホームページ「シラバス」→「▽資料」項目「学年暦カレンダー」

※P. 32の「8月事務室休業期間中の「単位認定試験(論文)」受付について」もあわせて確認してください。

上記、提出期限以降の単位認定試験(論文)申請・提出については以下のとおりです。

■前期(4月入学／登録)：正科生および科目等履修生の方■

2017年10月1日より単位認定試験(論文)の受験申請が可能となります。

なお、**2017年8月17日までに提出できなかった試験の申請および解答については無効となります**ので、2017年10月1日以降に改めて受験申請から行ってください(試験問題は受験ごとに変更になることがあります)。

■後期(10月入学)：正科生の方■

2017年度の「在籍手続」(10月2日～)完了後、単位認定試験(論文)の受験申請が可能となります。

「在籍手続」の詳細は、P. 21「正科生の在籍手続について(休学手続・休学からの復学手続を含む)」を確認してください。

なお、**2017年8月17日までに提出できなかった試験の申請および解答については無効となります**ので、「在籍手続」の完了後に改めて受験申請から行ってください(試験問題は受験ごとに変更になることがあります)。

■後期(10月登録)：科目等履修生の方■

2017年9月30日をもって登録期間が終了となります。

そのため、**2017年8月18日以降は単位認定試験(論文)の申請・提出はできません。**

引き続き学習を希望する場合は、2017年度10月登録生として改めて出願してください(P. 26参照)。

なお、単位修得に至らなかった科目のレポート・スクーリングおよびメディア授業合格の履歴は引き継がれませんのでご注意ください。

8月事務室休業期間中の「単位認定試験(論文)」受付について

P. 40でお知らせのとおり、2017年8月5日(土)～15日(火)は事務室休業(窓口・電話取扱停止日)となりますので、この期間中に到着した「単位認定試験(論文)」の受付についてお知らせします。

(注)「ToyoNet-G」で行う「単位認定試験(論文)申請」はシステムメンテナンス時(毎週木曜21:30～23:30)を除き、事務室休業日も利用可能です。

- ◇事務室休業期間中(8月5日(土)～8月15日(火))に到着した単位認定試験(論文) 2017年8月16日(水)より、消印が「提出締切日」内であるかを確認のうえ順次、受け付けします。
(春学期の提出期限8月17日(木)については**必着**ですので、ご注意ください。P. 31参照)

【注意事項】

「提出締切日」が事務室休業中にあたっている「単位認定試験(論文)」は、次の点に注意してください。

休業期間中に論文試験が提出(投函)された場合(※)であっても、「ToyoNet-G」の「単位認定試験(論文)情報一覧」では「提出締切日」の翌日より、受付完了まで以下のように表示されます。

「単位認定試験(論文)情報一覧」

⇒ 「状態」欄：「申請不備」 ⇒ 「備考」欄：不備内容「期限切れ」

その際は、**再度の受験申請は絶対に行わず「受付済」となるのをお待ちください。**遅くとも8月17日(木)11:00までには変更になります。

なお、消印が「提出締切日」を経過している場合は、いかなる理由があっても受け付けることはできません。提出締切期限には余裕をもって投函するようにしてください。

※「提出締切日」が事務室休業中にあたっている「単位認定試験(論文)」において、「提出締切日」までに提出(投函)できなかった場合は、再度、受験申請のうえ再受験をしてください(試験問題は受験のたびに変更になることがあります)。

なお、8月18日以降は9月30日まで受付停止期間となり、受験申請もできません(後期(10月入学)の正科生の方は「在籍手続」完了後から受験申請可能)ので、ご注意ください(詳細はP. 31参照)。

レポート・単位認定試験(論文)提出時の体裁について【再掲】

レポート・単位認定試験(論文)の提出にあたっては、それぞれ下表のNo.1～6を揃えて、過不足なく体裁を整えるよう注意してください。なお、詳細については『履修要覧』もあわせて確認してください。(2017年度より質疑応答用紙の順番が変更になりました。)

また、原稿用紙の使い方や引用のしかた、注の記入方法などについて不明点がある場合は、提出する前にTAに相談してください(TAの学習相談および在室時間についてはP. 36を参照)。

No.	添付内容等	レポート	単位認定試験(論文)
1	表紙	・ ToyoNet-G「学生メニュー」 →「レポート申請」後 「レポート情報一覧」より印刷	・ ToyoNet-G「学生メニュー」 →「単位認定試験(論文)申請」後 「単位認定試験(論文)情報一覧」より印刷
2	質疑応答用紙	・ 担当教員に質問がある場合のみ ToyoNet-G「お知らせ」内「教務関係」 より出力し添付	添付しない(※①)
3	原稿用紙	・ 用紙サイズ以外の原稿用紙の指定なし ・ 市販のA4判用紙(片面印刷)に20字×20 行で作成 ・ ワープロ使用の可・不可は科目担当教員 の指示による(※②) ・ 鉛筆及び消せるボールペンの使用は不可 (※④)	・ ToyoNet-G「お知らせ」内「教務関係」 より指定の解答用紙を片面印刷で出力(※ ③)。HPからも出力可。用紙は白黒出力 カラー出力両方可。 ・ 縦使用縦書きで手書きのみ ⇒ワープロ使 用不可、 全科目共通 ・ 鉛筆及び消せるボールペンの使用は不可 (※④)
4	参考文献用紙	・ ToyoNet-G「お知らせ」内「教務関係」 より出力し添付	・ 上記「原稿用紙」(解答用紙)と共に出力さ れる用紙を添付(末尾ページ) ・ 年齢、職業の記入欄あり、必ず記入する こと
5	添削指導用紙	・ 上記「参考文献用紙」と共に出力される 用紙を添付(2ページ目) ・ 年齢、職業の記入欄あり、必ず記入する こと	添付しない(※⑤)
6	その他	・ 不合格になった課題の再提出の場合【必須】 ⇒直前回の不合格レポート一式(表紙・本 文・添削指導用紙などを含む全て)を添付 (※⑥)	

※①：試験問題に関わる質問は、内容のいかんに関わらず一切受け付けない。

※②：ToyoNet-G「シラバス・教員プロフィール」の【レポート課題(Report exercise)】内「ワープロ使用可否」欄参照。

ワープロ使用可の場合：「可」と表記、ワープロ使用不可の場合：「不可」と表記

※③：指定の解答用紙以外の用紙を使用した場合には受け付けない。

※④：鉛筆または消せるボールペン等を使用すると改ざんされるおそれがあるため、使用した形跡がみられる場合は、受付をせず、返却する(レポートの場合)。

なお、単位認定試験(論文)は返却しない。あらためて消えないボールペン、ペン等を使用して書き直すこと。

※⑤：解答用紙は返却しないため、添削指導は行わない。試験結果はToyoNet-Gの「学習状況」などで確認すること。

※⑥：不合格レポートの添付がない場合は上表の体裁不備とみなし、受付せずに返却する。

添付する際は、再提出するレポートの下に直前回の不合格レポート一式を重ねてホチキス止めすること。

成績の確認について

ToyoNet-G「学生メニュー」の「学習状況」で、自身の学習履歴が確認できます。学習を進めながら、随時、履歴の確認をしてください。

* 学習状況の内容に関して質問がある場合は、返信用封筒(宛名明記・切手貼付)、学生証のコピーを同封のうえ、質問用紙にて問い合わせてください。電話での質問には応じられませんので、ご注意ください。

「司書教諭修了証書」申請について **後期生対象**

「司書教諭修了証書」大学一括申請(申請手数料600円)の申込受付を下記のとおり行います。ただし、編入学生・科目等履修生は、個人申請が必要となりますので申込できません(2017年9月本学通信教育課程卒業見込者および本学通信教育課程卒業生は大学一括申請が可能な場合がありますので、通信教育課に問い合わせてください)。

なお、大学一括申請した場合の「司書教諭修了証書」の交付は、2019年5月中旬頃となります。

1. 申請資格

- ・ 司書教諭の資格に必要な単位(5科目10単位)が修得済であること。
- ・ 教育職員免許状の取得または2018年5月末までに「教育職員免許状授与証明書」の発行を受けられる見込であること。

2. 手続について

上記申請資格がある者で大学一括申請を希望する学生は、次ページの「司書教諭修了証書申請書」を**A4判に拡大してコピー**し、必要事項を明記のうえ、返信用封筒(長3定形封筒に宛名明記・242円切手貼付)を同封し、**2017年9月8日(金)～9月15日(金)必着**で通信教育課宛に申し込んでください。

なお、申請者には2018年6月頃に申請手続および手数料納入について、お知らせいたします。

3. 個人申請について

文部科学省の官報での告示後、文部科学大臣委託学校に所定書類を提出(講習書類参加)することで修了証書が授与されます。

詳細は文部科学省ホームページの告示「学校図書館司書教諭実施要領」に掲載されています。

司書教諭修了証書申請書

本籍	都・道 府・県	電話番号 携帯電話 メールアドレス	() () @
現住所	〒 - 都・道 府・県		
ふりがな			
氏名	男 ・ 女		
生年月日	昭和 平成	年 月 日	
学 歴			
学部	学科	卒業時学籍番号	
昭和・平成	年 月 日卒業(見込)	7	

東洋大学長 殿

文部科学省より司書教諭修了証書の交付を受けたく申請の手続をお願いいたします。

2017年 月 日

(2017年度在籍の所属を記入)

学部	所属	学 科	学 籍 番 号											
	通信		7											

卒業後の住所 (修了証書送付先・帰省先) 現住所と同じ場合、「同上」と記入	〒 - 都・道 府・県
電話番号	()
携帯電話	()
教育職員免許状の有無	有 ・ 無 (平成 年 月 取得予定)
卒業後の進路	司書教諭・教諭・司書・その他 ()

※修了証書受渡(2019年5月頃を予定)までの間に、上記記入事項が変更となる場合は、
早急に通信教育課まで届けてください。(TEL: 03-3945-7348 E-mail: mltsukyo@toyo.jp)
※A4に拡大コピーをし、記入してください。

卒業要件の充足と卒業の時期について【再掲】

原則として、前期生(4月入学生)は3月卒業、後期生(10月入学生)は9月卒業ですが、卒業の時期に、単位修得が不足して卒業要件が満たされない場合、卒業は見送られます。その後は前期生・後期生に関係なく、卒業要件単位を充足した直近の9月または3月に卒業となります。

教育実習や資格取得の関係で、翌年や半年先の在籍を希望する学生は、その時期に卒業要件を充足するように、学習計画を立ててください。卒業要件を充足した状態で卒業を見送ることはできません。

【例】

前期生で、2017年3月の卒業を目指し、卒業論文の単位は修得したが、卒業要件単位数が2単位足りずに卒業できなかった。その後、2017年6月に不足していた2単位を修得した。→この場合、前期生であっても2017年9月に卒業となります。

TA(ティーチングアシスタント)の学習相談および在室時間【再掲】

通信教育部には、みなさんが日頃の学習において疑問に思ったこと、不安に感じたことなどに適切な助言・回答をしてくれるティーチングアシスタント(以下TAと略します)が文・法学部に在籍しています。下記の在室曜日・時間に電話、メール、ファックス等により相談の予約を入れることにより、通信教育課(TEL 03-3945-7348)窓口において各学部担当TAが対応いたします。質問・相談がある場合には大いに活用してください。

ただし、曜日・時間帯によっては予約が集中することもありますので、よく確認してください。

曜日	在室時間帯	担当TA氏名	担当学部・分野
月	14:00~15:00	菅原 <small>スガハラ</small> マイ <small>マイ</small>	文学部 古典文学文化科目 近現代文学文化科目 基盤教育科目
火	11:00~12:00	始澤 <small>シザワ</small> マスミ <small>マスミ</small>	法学部 法律専門科目 基盤教育科目 教職科目
水	—	法学部	相談がある場合は、事前に問い合わせてください
木	—	文学部	相談がある場合は、事前に問い合わせてください
金	11:00~12:00	尾崎 <small>オザキ</small> リエ子 <small>リエコ</small>	文学部 図書館司書科目 教職科目
土	11:00~12:00	鈴木 <small>スズキ</small> 崇之 <small>タカユキ</small>	法学部 法律専門科目 基盤教育科目

〈TAへの連絡方法〉

Eメール: mltsukyo@toyo.jp

TEL: 03-3945-7348 FAX: 03-3945-7584

GPA算出に伴う履修登録科目の取り消しについて

2014年度の1年次入学生よりGPA(Grade Point Average)制度を導入しています。

GPAとは、授業科目ごとの成績に対して、グレード・ポイントを付与し、この1単位あたりの平均を算出したもので、学生の学習到達度をはかる指標として国内外の大学で広く使われています。

以下の対象に該当し、学習しない科目がある場合は、3年次の学年末のみ履修の取り消しが可能です。

対象者：2014年度の1年次後期入学生
 2015年度の2年次後期入学生
 2016年度の3年次後期入学生
 手続期間：2017年9月11日(月)～15日(金)

詳細や注意事項については、対象者のみ、9月上旬にToyoNet-Gの「お知らせ」にて配信いたします。

GPA制度の改定について

2017年度よりGPA制度におけるグレード・ポイントが以下のとおり変更になりました。対象となる科目、評価、計算式については、変更はございません。

S : 4.3
 A : 4.0
 B : 3.0
 C : 2.0
 D : 1.0
 * : 0.0

$$\text{GPA} = \frac{(\text{Sの修得単位数} \times 4.3) + (\text{Aの修得単位数} \times 4.0) + (\text{Bの修得単位数} \times 3.0) + (\text{Cの修得単位数} \times 2.0) + (\text{Dの修得単位数} \times 1.0) + (*の修得単位数 \times 0.0)}{\text{総履修登録単位数}}$$

科目担当教員の変更および休講科目について(2018年4月～)【重要】

下記科目については、2018年4月より休講措置が取られる科目および担当教員が変更になる科目があります(2017年7月6日現在)。そのことにより、レポート課題やテキスト等が変更となることもあります。つきましては、該当科目を履修・学習している学生は、できるだけ早く単位修得してください。(語学・実技・演習・実習科目は除く)

【休講科目】

科目名 (2004～2007年度 入学生)	科目名 (2008～2011年度 入学生・科目等履修生)	科目名 (2012～2015年度 入学生)	科目名 (2016～2017年度 入学生)	2017年度 担当教員名
日本語学特講A	日本語学特講A	日本語学特講A	日本語学特講ⅠA	木村 一
日本語学特講B	日本語学特講B	日本語学特講B	日本語学特講ⅠB	

【担当教員の変更】

科目名 (2004～2007年度 入学生)	科目名 (2008～2011年度 入学生・科目等履修生)	科目名 (2012～2015年度 入学生)	科目名 (2016～2017年度 入学生)	2017年度 担当教員名
法学 (含む日本国憲法2単位)	法学 (含む日本国憲法2単位)	日本国憲法	日本国憲法	武市 周作
日本語史	日本語史	日本語史A	日本語史A	中山 緑朗
		日本語史B	日本語史B	
憲法	憲法	憲法A	憲法A	名雪 健二
		憲法B	憲法B	
労働法	労働法	雇用関係法A	雇用関係法A	鎌田 耕一
		雇用関係法B	雇用関係法B	

科目等履修生の履修について 科目等履修生対象 前期生対象

科目等履修生(前期生)について、変更届の提出をもって履修登録科目およびコースの変更を認める措置をとることにいたします(この場合も配本は行いません)。

この場合、変更前の科目の学習履歴は無効となります。

また、科目の追加や削除はできませんのでご注意ください。

・科目変更手続期間：2017年9月25日(月)～28日(木)

※詳細や注意事項については、9月中旬にToyoNet-Gの「お知らせ」にて配信します。

その他

登録情報の変更について

氏名・住所・電話番号・勤務先・保証人など、既に登録している事項に変更が生じた場合は次の方法で変更手続きをしてください。正科生と科目等履修生では手続方法が異なります。

◇正科生：

- ①住所・電話番号・勤務先の変更……………ToyoNet-Gより変更してください。
- ②上記以外の変更(氏名・保証人の変更等)……………通信教育部ホームページの「申請・届出」内にある「変更届」に記入し、学生証のコピーを同封の上、お送りください(氏名・戸籍変更の場合は戸籍抄本も同封)。

◇科目等履修生：

全ての変更……………通信教育部ホームページの「申請・届出」内にある「変更届」に記入し、科目等履修生証のコピーを同封の上、お送りください(氏名・戸籍変更の場合は戸籍抄本も同封)。

氏名・住所・電話番号はもちろんのこと、勤務先・保証人項目などについても正確な届出がなされなかった場合、『東洋通信』発送、個人への連絡等に支障をきたす場合がありますので、必ず届け出てください。また、住所変更の際は、郵便局への「転居届」提出も必ず行ってください。

なお、大学からの送付物の発送予定(2017年9～10月)は、下表のとおりです(在学生のみ、教職課程履修者等の個別送付分は除く)。「変更届」を提出することが必要な学生は、確実に送付物の受取りができるよう、9月上旬までに手続を完了してください。

各種資料等	対 象	発送予定日程
学費振込用紙	正科生(後期生のみ)	9月末
一括送付書類 (履修の手引き、学生証裏面シール等)		
『東洋通信』10月号	正科生 科目等履修生(前期生)	

『学生生活ハンドブック』 配付停止について **正科生対象**

正科生対象に配付しておりました『学生生活ハンドブック』は、2018年度から配付停止となりました。通年スクーリング等、年間行事はToyoNet-Gおよび『東洋通信』で確認してください。

通信教育課8月・9月の窓口・電話取扱日および取扱時間について

8月・9月の通信教育課(8号館2階)の窓口・電話取扱日及び取扱時間は以下のとおりです。
学割や各種証明書の発行等は日程に余裕を持って申請してください。

※『東洋通信』4月号の年間行事予定表(P. 76)および6月号P. 6の記載内容から一部変更になっておりますので、ご注意ください。

8月

		(通信教育課) 窓口・電話取扱時間
8月 1日～ 4日	火～金	9:30～12:45、14:00～16:45
8月 5日～15日	土～火	closed
8月16日～18日	水～金	9:30～12:45、14:00～16:45
8月19日・20日	土・日	closed
8月21日～24日	月～木	9:30～12:45、14:00～16:45
8月25日～27日	金～日	closed
8月28日～31日	月～木	9:30～12:45、14:00～16:45

→単位認定試験(論文)の「提出締切日」がこの期間にあたる場合は、P. 32をあわせてご確認ください。

9月

		(通信教育課) 窓口・電話取扱時間
9月 1日～ 3日	金～日	closed
9月 4日～ 8日	月～金	9:30～12:45、14:00～16:45
9月 9日・10日	土・日	closed
9月11日～15日	月～金	9:30～12:45、14:00～16:45
9月16日～18日	土～月	closed
9月19日～22日	火～金	9:30～12:45、14:00～16:45
9月23日・24日	土・日	closed
9月25日～29日	月～金	9:30～12:45、14:00～16:45
9月30日	土	9:30～12:45

「第31回 法学部長杯争奪法律討論会」開催と立論者募集のお知らせ

法学部学生対象

本学法学部学生が同一テーマについて研究発表し、意見を交換することによってリーガルマインドを培うことを趣旨とした「法学部長杯争奪法律討論会」を下記の要領で開催しますので、奮って参加してください。

なお、質問者は申込不要ですが、立論発表者は下記【立論者募集要項】の①～⑦にしたがって申し込んでください。

記

【開催要領】

1. 開催日時 平成29年10月26日(木) 13:00～16:10
2. 会場 5号館地下2階 井上円了ホール
3. 討論課題 憲法分野
出題者 宮原 均 教授 ※課題は次ページ参照
4. 討論方法 立論者よりそれぞれ10分ずつ発表した後、参加者からの質問を受け付けし、討論を行う。
5. 表彰 [立論の部] 3位まで入賞とし、賞状・賞品を贈呈する。
また、優勝者には法学部長杯を贈呈する。
[質問の部] 3位まで入賞とし、賞状・賞品を贈呈する。
※質問者は申込不要。当日会場で質問する。但し、立論者は質問の部の表彰対象としない。

【立論者募集要項】

- ①募集人数 6名 (応募者多数の場合は、書類選考をして立論者を決定します)
- ②募集対象者 本学法学部学生(第1部・第2部および通信教育部生、学年不問)
- ③提出書類 申込書+レジュメ A4×1枚 横書き 10.5ポイント。書式は自由とする。レジュメのファイル名は「第31回法律討論会レジュメ(●●●●(氏名))」とする。
(添付ファイルの形式は原則としてワードとする。)
- ④申込先 申込用紙に記入の上、レジュメと一緒に下記アドレスへメールで申し込むこと。 **申込提出メールアドレス mlhou@toyo.jp**
- ⑤受付期間 **平成29年9月22日(金)～25日(月)**
- ⑥立論者の選考 a) 受付期間に応募者が6名を超えた場合には、提出されるレジュメ(A4×1枚)によって立論者を予備選考して、9月29日(金)に立論者を発表する。
b) 受付期間に応募者が6名に達しない場合には、先着順で6名に達するまで延長する。(最終受付は9月27日(水)17:00までとする。)
- ⑦その他 授業の出席振替措置は行いませんが、立論希望者は法学部教務課窓口で相談してください。

※開催要領や立論者募集要項に変更等がある場合はToyoNet-Gおよび法学部掲示板等でお知らせします。

ToyoNet-Gで募集要項・申込用紙のダウンロード、および法律討論会の案内を見ることができます。

《第31回法律討論会 課題》

出題分野：憲法分野 出題教員：宮原 均 教授

A刑務所においては、在監者がヒゲを生やすことは、医療上の理由がある場合以外は、禁止されていた。その主な理由は、逃亡及び凶器等の持込みを防止することであった。

Aの在監者Bは、C宗教を真に信仰していたが、Cによれば、ヒゲに手を入れることは原則として許されず、例外としてこれが認められる場合にも、1cm未満とすることはできなかった。そこで、Bは、D所長に対して、1cmのヒゲをのばすことを認めるよう申し入れたが拒否され、逆に、ヒゲをすべて剃るように命令された。

Bは、この命令が憲法20条によって保障されている信教の自由を侵害するとし、その取消しを求めて訴えを提起した。

この請求が認容されるかどうか、裁判所による審査基準を踏まえて検討せよ。

東洋大学能楽鑑賞教室のご案内

1. 日時 2017年10月7日(土) 開場 14:30 開演 15:00
(終演予定は18:00頃)
2. 場所 東洋大学 白山キャンパス5号館 B2F 井上円了ホール
3. 内容 能楽鑑賞教室
Workshop
能『殺生石』
狂言『佐渡狐』
4. 出演 観世鍔之丞(九世) 野村万之丞



*東洋大学通学課程の授業として開催される行事を一般開放するものです。申込による事前の席の確保はできませんので、ご了承ください。

【問い合わせ】 文学部教務課
メールアドレス bungaku01@toyo.jp

TAのしおり

漢和辞典を使ってみよう

はじめまして、文学部TAの尾崎です。国語の教育職員免許状を取得するために欠かせない「漢文」ですが、どう取り組めばいいのか分からない、といった悩みを持っていらっしゃる方が多いようですので、今回は漢文や漢和辞典のお話をしようかと思います。

1：漢文について

中学、高校では国語という教科の中で学習する漢文ですが、日本語？それとも中国語なのでしょうか。通信教育課程の科目名「中国の古典」が表しているとおり、古代中国人によって書かれた文章は「中国文言文」と言えるでしょう。

しかし、日本人は中国から伝来した文章を「漢文訓読法」を使って読解するという方法を編み出しました。また漢字から「平仮名」「片仮名」という表記法も生み出し、現在我々は「漢字仮名交じり文」を利用するに至っています。(注1)

このような、漢字と切り離せない日本語成立の過程を考えると、漢文学習は様々な時代の日本語や日本文化の理解を深めるのに役立つと言えるでしょう。そのため、基礎となる中国古典の良質な文章に取り組むことは、とても有意義なことです。

現在の日本語と中国語は「漢字」を利用していますが、文法体系も字体も異なります。その上同じ漢字の表記であっても、全く同じものを指し示しているとは限りません。私が10年ほど前に中国・南京に滞在していた時、中国人の友人と「黄色い柑橘」の絵を見ながら漢字で「柚子」と書き、お互い同じ果物を考えていると思っていました。ところが後日現地の露店で中国の「柚子」を見た時の正直な感想は「大きい、このどっしり感、柚子ではない、文旦だ。」でした。改めて中国人の友人に「日本の柚子は、握りこぶし程度の大きさだ。」と告げると、大変驚いていました。大きさも味も全く異なる果物であったのです。『中国語大辞典』(注2)で「柚子」を調べると「ザボン；果実は‘柚子’〔ザボン〕、また‘文旦’〔ブンタン〕」と出てきました。風土の違う国同士とはいえ、一つの漢字の表すものの違いには驚かされました。

2：漢和辞典の使い方

漢文を読むのに適している辞典には、たとえば『全訳 漢辞海』(第4版 戸川芳郎監修 佐藤進・濱口富士雄編 三省堂 2017年)、『新字源』(改訂版 小川環樹・西田太一郎・赤塚忠編 角川書店 1994年)、『漢字源』(改訂第5版 藤堂明保・杉本昭・竹田晃・加納喜光編 学研教育出版 2011年)といったものがあります。文法事項などの解説が使いやすいものを選んで利用するといいいでしょう。

そして、これらのコンパクトな辞典を使っても、意味が上手く探せなかった場合には大型の辞典である『大漢和辞典』全15巻(修訂第2版 諸橋轍次著 蒲田正・米山寅太郎修訂 大修館書店 2000年)を使ってみましょう。

また、人物・書籍の説明や学術用語について調べたい時には、『中国学芸大辞典』(近藤春夫

大修館書店 1978年)を利用するのも良いでしょう。

漢和辞典の引き方で代表的なものには「部首索引」「音訓索引」「総画索引」があります。どの引き方で調べても目的の漢字にたどり着くことができます。まずは調べる漢字の何を知っているかを考えてみてください。

誰も、正確な部首がわからなかったり、画数の数え方が間違った場合や、歴史的仮名遣いから音訓をうまく探せなかったりという、苦い経験があるかと思います。自分の得意な検索方法でうまく探せなかった時は、その方法にこだわらず、違う索引で再度検索してみてください。気持ちの切り替えが大切です。

それでは、先ほどお話ししました「柚」という漢字を調べて見ましょう。今回は『全訳漢辞海』を使用してみました。

まず部首索引で引いてみましょう。部首「木部」は4画の項目にあります。該当のページから「木部」が始まり、**部首を除いた部分の画数**が少ない順から並んでいます。「柚」の場合「由」がら画となります。順に探していきましょう。

次に音訓索引では「ユウ・ユ・チク・ジク」の音から引くことができ、索引から直接「柚」の文字までたどり着けます。

最後に総画索引(部首も含めた画数)では「9画」の項目にあります。項目内では画数の少ない部首の順で並んでいます。「木部」は4画ですので、まずは「木部」を探し、その次は「木部」の中での画数順にならんでいますので順に探していきましょう。

さて「柚子」を調べた結果ですが「ミカン科の常緑高木。果実は食用になり、果皮からは芳香油をとる。ゆず。」と出てきました。これでは、大きさが分からないため『大漢和辞典』を引いてみました。

『大漢和辞典』の「柚子」の項目には、「ゆず。」とあり、その後に出典・引用例として『桂海虞衡志』志果」をあげ、「およそ瓜のようである。」という記載があることを紹介しています。この瓜がどんな大きさは分かりませんが、握りこぶしほどの大きさということはないそうです。

その他の検字法には「四角号碼検字法(しかくごうまけんじほう)」という方法があり『大漢和辞典』に採用されています。『中国学芸大辞典』によると「王雲五が民国十四年(一九二五)発表した新検字法で、その後改良を加えて四十七年完成した。漢字の筆形を十種に分け、それぞれに番号(号碼)を定めて、漢字の左上・右上・左下・右下の順序にその四隅(四角)の番号をよんで行くことにより、漢字を四桁の数字にあらわし、数字の順序に並べて、数字によって漢字を検索するもの。」とあります。滅多に使うことはないと思いますが、知識として知っておくと良いでしょう。

3：課題の取り組み方

さて、実際にレポートや試験の課題に取り組む際には、漢和辞典で一つ一つの文字の意味を調べ、文法解釈の疑問を解決しながら、自分なりに意味をつかんでいくことが大切です。シラバスに載っている参考文献の解釈を丁寧に比較検討し、それを手掛かりにして、課題に取り組んでいく必要があります。

TAのしおり

先人の研究成果を参考にしていると、自分がどのように書いても「剽窃」なのではないの？ そんな疑問が芽生えるかもしれません。解釈した意味が違えば訓読も現代語訳も変わってきます。参考文献の解釈は「万能な答え」ではありません。自分で訓読や解釈をおこなうと、上手く意味をつなぐことができない、そんな壁にぶつかるでしょう。漢文は外国語なのです、美しい日本語に置き換えられないこともあります。その時こそが参考文献の出番です。複数の参考文献を比較検討し、解釈がどうしてそうなっているのか考えることで理解を深めましょう。

参考文献

(注1)『漢字伝来』大島正二 岩波書店 2006年

『古典日本語の世界—漢字がつくる日本』東京大学教養学部国文・漢文学部会編
東京大学出版会 2007年

(注2)『中国語大辞典』大東文化大学中国語大辞典編纂室編 角川書店 1994年

(文学部TA 尾崎利恵子)

【随 筆】

「言語景観」からみえるもの …………… 三 宅 和 子… 2

【学 習 室】

「情報メディアの活用」の授業がめざすもの
— 「学び方を学ぶ！」 …………… 木 戸 裕… 7

「判例の位置付けに注意！」 …………… 清 水 宏… 8

言葉に無頓着であってはいけない …………… 栗 原 久…14

【論 文】

狂言にみる茶の文化 …………… 原 田 香 織…15